



木場小だより

教育目標：豊かな心と確かな学力を備えた、
心身ともにたくましい児童の育成
<http://www.hakusan.ed.jp/~kiba-e/>



令和6年10月21日

小松市立木場小学校
校長 小山貴子

TEL：0761-44-2803
FAX：0761-44-5974
kiba-e@kec.hakusan.ed.jp

いしかわ自然学校

2日、木場潟中央園地で4年生が「いしかわ自然学校 木場潟水辺のまなび舎」に参加しました。

木場潟公園協会の中出俊樹事務局長さんからは、木場潟の概要と環境の変化について、木場潟再生プロジェクトの北真人さんからは、水質浄化をする植物と、水質調査の方法について教わり、実際にパックテストや透視度計を使った水質調査を行いました。



また、市役所環境推進課の高榮晋平さんからは木場潟に住む生き物について実物を見ながらその特徴を教わりました。

「木場潟の自然」について学びを進めている4年生ですが、ちょうど中間発表の時期を迎え、これまでの活動を振り返っています。今回の活動を通して、

「木場潟の環境を守り向上させるために自分達ができること」について考えていきます。



まち探検



2年生が生活科の学習で「町探検」に出かけました。3日はあいにくの雨の中、山本理容店と木場こども園へ、10日は木場台公民館と美容室まりに行きました。山本理容店では髪を切る道具や大きな椅子に感激しました。子ども園でもたくさんの質問をして園長先生に成長を



ほめてもらいました。木場台公民館では、普段入ることができない部屋を紹介してもらったり、美容室まりでは犬に触らせてもらったりと、学習はもちろん、地域の皆さんとの様々な交流をさせてもらいました。これらの学習の成果はぜひ、学校公開でご覧ください。



ぜひいらしてください ～学校公開～
11月2日(土) 13:15～ 各学年の学習成果発表・交流
14:10～ 学校保健委員会

弁護士によるいじめ予防教室

4日、弁護士さんをお招きし、3、4年生が「いじめ」について考えました。「いじめはよくない」と、どの子もいいます。でも「どんなことがいじめになるの?」と問われ、「あだ名で呼ばれるのはいやだ」「あだ名で呼ばれると親近感がわく」と、議論が自然に生まれました。さらにドラえもんキャラクターをもとに、いじめには「いじめる人・いじめられる人・助ける人」の他に「見ていて何もしない人」がいて、見ていて何もすることがいじめを根深くさせることを学びました。「いじめ」かどうかは、行為をした側ではなく、受け手側の感じ方で判断します。感情が未発達な子どもの社会では、トラブルを起こした場合、「謝る」という行為で許しあう場面が多くありますが、大人の社会では「いじめは犯罪」です。この授業を通して子ども達の感想に「受け手がいじめととらない関係づくりが大切」というのがありました。将来の大人として、子ども達が法に携わる方とともに「いじめ」をテーマに話し合い、しっかり考える機会をもてたことをうれしく思います。



全校集会（デモンストレーション）

9日の全校集会では後期児童会の任命式を行い、それぞれの委員長が全校の前で、後期の活動にかける思いを話しました。後期も、当番活動はもちろん子ども達発信の企画に期待しています。さらに5年生が授業デモンストレーションを行いました。2年生の国語の教材「スイミー」でモデル授業の劇を行い、ペアやグループでの活動のポイントを紹介しました。提案したのは右の5つの事柄ですが、劇を見た他学年からは劇の中から「大きな声」「みんなの方を見て」「教科書を指しながら」など、多くの「よさ」の発見があり、子ども達の「授業を見る目」が育っていることをうれしく思いました。これからは実際の授業でそういう場面を作ってくれることを楽しみにしています。



ペア・グループ学習のポイント

- ①反応をする
- ②質問をする（どうして?どこから?）
- ③みんなで考えを出し合う
- ④よりよい考えにまとめたり広げたりする
- ⑤話し合ったあとは全員で手を挙げる

巣箱づくりと水生植物の移植

10日、4年生が小松木工クラブの皆さんの指導のもと、巣箱づくりを行いました。愛鳥モデル校としての活動の一環ですが、この活動は、図工の釘打ち・木工の学習や社会「間伐材の利用」と関連付けています。このように本校では1つの活動を単独で行うのではなく、様々な学習と関連付けることで、内容の充実を図っています。多くの大人の手をお借りし、巣箱を組み立て、腐敗防止のためバーナーの火であり、丁寧に水洗いをした子ども達はその完成度の高さに笑顔でいっぱいでした。



本校の「木場っ子木場潟」には、木場潟と同じ水生植物があります。「いしかわ自然学校」で水生植物が水質浄化に役だっていることを学んだ4年生は、「自分たちができること」の1つとして本校の「木場っ子木場潟」にある水生植物を木場潟公園に移植することを提案しました。17日、星の城プロジェクトの皆さんのご協力のもと、学校の水生植物を採取し、「トチカガミ」を西園地の水生植物園に、「デンジソウ」を中央園地のせせらぎ水路に移植しました。学校で育った水生植物がある木場潟を訪れる楽しみが増えました。